

障害者の生活支援研修～その人らしい人生をどう支援するか～

(認定社会福祉士認証研修)

本研修では、障害者のライフコース（Life Course：個人の過去・現在・未来）を考え、各ライフステージにおける特性や生活への理解を深めるとともに、その生活を支えるための意思決定支援やアセスメントの理論・手法を学び、関係機関との連携や地域作りも意識しながら、ソーシャルワークの持つミクロ・メゾ・マクロの視点で障害者への支援を行えるようになる支援者の養成を目的に実施します。

実際に障害者支援に携わっている方だけでなく、地域共生社会の実現に向け、他の分野や領域の方にもご参加いただき、家族支援、地域支援に活用いただきたい研修です。

(※ライフコース…誕生から高齢までの人の発達の道筋。歴史的・個人的・社会的な時間の流れの中で人生経験を見ること)

1. 日程：2019年1月24日（木）～1月25日（金）

※2日間のプログラムについて、1日目（1月24日）のみの参加も可能です。

※プログラムの構成上、2日目（1月25日）のみの参加はご遠慮ください。

※認定社会福祉士の研修単位を取得したい方は、2日間のすべてのプログラムの受講が必要です。

2. 会場：新潟ユニゾンプラザ（新潟市中央区上所 2-2-2）

3. 定員：80名

4. プログラム：

【1日目】2019年1月24日（木） 4階 大会議室	
8:50～9:00	開会挨拶／オリエンテーション
9:00～10:00	科目1「生活歴の理解」（講義 60分） ／講師：渡辺陽一（社会福祉法人のぞみの家福祉会 障がい者支援施設 緑風園 園長） 障害者について、生活歴（ライフコース）を理解したうえで、幼児期・学齢期・青年期・高齢期等の生活における特性、各ライフステージにおける生活支援のポイント（着眼点）を学ぶ。
10:00～10:10	休憩（10分）
10:10～11:10	科目2「意思決定支援とは」（講義 60分） ／講師：本間奈美（一般社団法人 SADO Act 代表、相談支援センターそらみ管理者） 意思決定支援を巡る動向、意思決定支援の概念を理解し、「意思決定」について理解を促す。
11:10～11:20	休憩（10分）
11:20～12:20	科目3「本人の意思を捉える方法」（演習 60分）／講師：本間奈美 事例に基づき、特に障害の重い方の「意思」をどうとらえるか、その視点とポイントへの理解を促す。
12:20～13:20	昼食休憩（60分）
13:20～14:05	科目4「ワーク：生活歴の理解」（演習 45分）／講師：渡辺陽一 事前課題で作成した自身の実践事例について、生活歴をとらえる視点、意思決定を支える視点から改めて確認し、支援者としての関わりについて気づきを促す。
14:05～14:10	休憩（5分）
14:10～16:40	科目5「課題解決の手法」（講義 90分）／講師：渡辺陽一 本人本位、本人の意思決定をふまえた生活支援のためのケア計画策定の要となるアセスメントについて、その意義や視点、方法などを学ぶとともに、「課題」と「ニーズ」をどのように捉えるかを理解する。
16:40	終了
18:00（予定）	懇親会（新潟駅前・会費 5,000 円程度を予定）

【2日目】2019年1月25日（金） 4階 大研修室	
9:00～	受付
9:00～11:30	科目6「課題解決に向けたケア計画の策定Ⅰ」（演習 150分）／講師：渡辺陽一 ・事例を通じて、障害者の生活歴と現在の生活、本人を取り巻く人的環境や社会資源の状況などの必要な情報整理・アセスメントの視点を確認する。 ・把握・分析した情報を正しく理解し、どのようなケア計画につなげるか、プランニングの視点を学ぶ。

11:30～12:30	昼食休憩（60分）
12:30～14:00	科目7「組織間ネットワークとチームアプローチ、地域との関わり、多様なサービスの活用」 （講義 90分） 講師：齊藤保則（社会福祉法人愛宕福祉会 障がい者就労支援センター・ドリーム管理者・サービス管理責任者） 障害者の生活支援にあたり、ミクロからメゾ、マクロへと視点を展開させ、地域課題への取り組みにつなげる視点を学ぶ。
14:00～14:15	休憩（15分）
14:15～16:45	科目8「課題解決に向けたケア計画の策定Ⅱ」 （演習 150分）／講師：齊藤保則 ・個人の障害者への支援から、マクロの視点を広げ、地域づくりにどうつなげていくかという視点をもってケア計画の策定ができるようになる。 ・障害者の支援に対し、多角的なとらえ方をする重要性を理解し、支援の視点の幅を広げる。
16:45	閉会

5. 受講対象者（申込区分別）と、申込区分別の修了要件

	【区分1／認定参加】 認定社会福祉士の研修単位を取得したい方	【区分2／一般参加】 左記以外の方
受講条件	下記①及び②の両方を満たす方 ①社会福祉士有資格者 ②障害福祉分野での自身の実践事例を提出できる	特になし。 地域において障害者支援に携わる方、ほか、本研修の内容に関心のある方など。
修了要件	以下のすべてを満たすことで修了となります。 ①すべてのプログラムに出席し、かつ、事前課題を提出すること。 ②事後課題を提出すること。 ③各講義・演習において 15分以上の遅刻・早退・途中退席がないこと（※15分以上の遅刻・早退・途中退席があった場合は、原則、研修は未修了となります）	・2日間のプログラムについて、 <u>1日目のみの参加</u> が可能です（プログラムの構成上、2日目のみの参加はご遠慮ください）。 ・2日間すべての申し込みも可能です。 ・いずれの場合にも、 <u>事前課題をご提出いただきます</u> （1日目の演習で使用するため）。 ※障害者支援以外の分野の方は、自身の実践分野での対象者の支援事例を事前課題としてご提出ください。 ※事後課題の提出は不要です。
事前課題	あり（「6.事前課題と事後課題」参照）	あり（「6.事前課題と事後課題」参照）
事後課題（修了レポート）	あり（「6.事前課題と事後課題」参照）	なし
修了後の単位付与	認定社会福祉士の研修単位として以下の単位を取得できます。 研修認証番号：20180001 研修単位：1単位 科目名：対象者別科目 科目の区分：分野専門（障害分野） 科目の群：対象者別科目群	なし。
受講料	都道府県社会福祉士会会員 8,000円 非会員 15,000円	1日目のみ参加の場合 新潟県社会福祉士会会員 3,000円 上記以外の方 5,000円 2日間参加の場合 新潟県社会福祉士会会員 6,000円 上記以外の方 10,000円

6. 事前課題と事後課題

【事前課題】 ※科目4～8で使用します。

自身が支援をしている事例について、その人の生活上の課題と、現在どのような支援をしているか、社会資源活用の現状を整理する（所定の様式を使用）。

※事前課題の提出締切は、2019年1月10日（必着）

※事前課題の様式は、新潟県社会福祉士会ホームページからダウンロード可能です。

【事後課題（修了レポート）】※認定社会福祉士研修単位対象者のみ

上記【区分1】の方のみ、事後課題（修了レポート）があります。課題の内容は後日ご説明します。

8. 申込方法及び受講決定【申込期限：2018年11月30日（消印有効）】

- ①別紙の申込書をご記入のうえ、上記申込期限までに新潟県社会福祉士会事務局までお申し込みください。申込書は当会ホームページからもダウンロードが可能です。
- ②申込期限以降、12月10日頃までに受講者ご本人に受講決定通知を送付します。事前課題の提出方法や受講費の納入方法等については受講決定通知でお知らせします。
※受講申込者が少ない場合、開講しない場合がありますので予めご了承ください。
※定員を超えた場合は、新潟県社会福祉士会会員の方を優先させていただきます。

9. 主 催：公益社団法人新潟県社会福祉士会

10. 後 援（予定）：新潟県

11. 研修単位

本研修は、認定社会福祉士認証・認定機構により認証された研修です。

研修認証番号：20180001／研修単位：1単位／科目名：対象者別科目／

科目の区分：分野専門（障害分野）／科目の群：対象者別科目群

12. 問合せ先：公益社団法人新潟県社会福祉士会事務局（担当：畠山）

〒950-0994 新潟市中央区上所2-2-2 新潟ユニゾンプラザ3階

TEL：025-281-5502／FAX：025-281-5504／メール：njacsw@poplar.ocn.ne.jp